TADOKU Supporters NPO多言語多読

http://tadoku.org/

ふしぎだな

ぼくが感(かん)じた不思(ふし)議(ぎ)なこと

2

刺身

日本料理というと、中国人は刺身を思い浮かべます。
しかし、日本に来る前に食べたことは、ありませんでした。
「魚の血と骨がついてるかなあ」と考えて
怖いイメージがありました。

何人かの中国の友達に「刺身は食べたい？」と聞いたら、
誰も食べたいと言いませんでした。

日本人は刺身が大好きです。
お祝いや集まりのとき、良く食べます。

江戸時代に生の魚の切り身に
醤油をつける食べ方が広まりました。

もっとも美味しい日本の食文化だと思います。

印鑑（いんかん）

日本（にほん）では個人的（こじんてき）な印鑑（いんかん）を使（つか）う人（ひと）がたくさんいます。
ぼくは配達（はいたつ）のバイト（ばいと）で、
よくハンコ（はんこ）で荷物（にもつ）を受（う）け取（と）っていただきました。

残念（ざんねん）なのは、
今（いま）の若者（わかもの）が印鑑（いんかん）を使（つか）うことが好（す）きじゃなく、
サイン（さいん）のほうが好（す）きなことです。

日本(にほん)での個人的(こじんてき)な印鑑(いんかん)の使用(しよう)は、
明治時代(めいじじだい)に広(ひろ)まりました。

今(いま)では、通帳(つうちょう)を申(もう)し込(こ)むときとか、
車(くるま)を買(か)うときに必要(ひつよう)です。

もし、個人的(こじんてき)な印鑑(いんかん)を使(つか)う人(ひと)がいなくなったら、
少(すこ)しさびしいです。

納豆（なっとう）

日本語学校（にほんごがっこう）のとき、
先生（せんせい）が納豆（なっとう）のことを紹介（しょうかい）してくれたので、
一度（いちど）買（か）って食（た）べてみました。

ねばねばしていて、なかなか慣（な）れなくて、
それ以来（いらい）、しばらく食（た）べませんでした。

日本(にほん)でも、地域(ちいき)によって食(た)べられない人(ひと)もいますし、
納豆(なっとう)がどんなものかさえ知(し)らない人(ひと)もいます。

しかし、テレビ(てれび)が「健康(けんこう)にいい」と放送(ほうそう)して、
食(た)べる人(ひと)が増(ふ)えています。

ぼくも今(いま)では慣(な)れて好(す)きになりました。

エスカレーター

東京ではエスカレーターに乗るとき、
左側が立つところで、
右側が急いで通行する人のための空間です。

東京では左側に立ち、大阪では右側に立ち、

おおさか
大阪

なごや
名古屋

名古屋はこの二つの場所の間にありますので真ん中に立ちます。
ふふふ、冗談です。

実はルールではありませんが、
マナーと日本人の優しさの
表現なのです。

（写真 左 から）あやさん、ぎゅうさん、かっこさん
の３人でつくりました。
ぎゅうさんが日本で不思議に思ったことを
本にした「ふしぎだな」の続きです。

ふしぎだな――ぼくが感じた不思議なこと２

2017年2月4日　発行
作：ぎゅうさん、あやさん、かっこさん
監修：NPO多言語多読

写真：無料写真素材　写真AC
http://www.photo-ac.com

この本は2016年10月29日に行われた
「日本語多読の本作りワークショップ」で
作成された「ふしぎだな」の続きです。